



生きづらさから生きやすさへ  
その生きづらさどうにかならない？



# 生きづらさ学

## 第3回 ワークショップ

～生きづらさの見える化を目指して～

平成 27 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)連携型共同研究

2016.2.7.SUN.

ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ  
13:00 ~ 17:00 (12:30 開場)

●●佐分利 応貴 (経済産業省 / 社会医学) ●●

社会のモノサシの作り方～社会医学と評価学の視点より

●●吉岡 剛彦 (佐賀大学 / 法哲学) ●●

名指されぬ弱者、街に出る。

——生きづらさの表出 / 表現としての SEALDs と在特会にかんする試論

●●今井 必生 (医療法人 三家クリニック / 精神医学) ●●

生きづらさとは何だろう? : 一精神科医の随想

雇用, 格差, 育児, 介護, 障がい ... 「生きづらさ」の視点から, 縦割りの価値観を超えてさまざま  
な分野の研究者が集い, 本質的な問題構造を明らかにし, 対処療法を越えた解決策を見出します。

【参加登録】 参加定員 60 名 (当日参加も可能ですが, 事前登録者を優先します。)

① <http://goo.gl/forms/bhN5nL5ZX6> の登録フォームよりお申込ください。

② E-mail の場合は件名に「生きづらさ学申込」と明記し, 必要事項をご記入  
になり, 下記連絡先アドレス宛にご送付ください。

必要事項: ①お名前 ②フリガナ ③ご所属 ④返信用 E-mail アドレス

※子どもさん同伴の場合は人数、年齢もご記入ください。

※当日はキッズスペースを設けますが託児サービスはありません。



〈参加登録フォーム用〉

【連絡先】 [ikidurasagaku@gmail.com](mailto:ikidurasagaku@gmail.com)

【会場案内】

みんなの森 ぎふメディアコスモス内 かんがえるスタジオ (岐阜県岐阜市司町 40 番地 5)

JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅よりバス 10 分 詳しくは (<http://g-mediacosmos.jp/>) をご確認ください。



【主催】 生きやすさ応援実行委員会 岐阜

小山真紀 (岐阜大学 地域減災研究センター 准教授) / 大崎友記子 (岐阜女子大学 家政学部生活科学科住居学専攻 准教授)

相原征代 (岐阜大学 男女共同参画推進室 特任助教) / 船越高樹 (岐阜大学 教育推進・学生支援機構 障害学生支援室 特任助教)

# 第3回 生きづらさ学ワークショップ

## ～ 生きづらさの見える化を目指して ～

**日時** 2016年2月7日(日) 13:00～17:00(開場 12:30)

**会場** みんなの森 ぎふメディアコスモス 1F かんがえるスタジオ  
〔〒500-8076 岐阜県岐阜市司町 40 番地 5 / TEL 058-265-4101〕

- JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩約 25 分 (2.3km)
- JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅からバス  
所要時間 10 分・運賃：大人 210 円、小人 110 円  
「メディアコスモス前」「市民会館・裁判所前」からすぐ  
「メディアコスモス・鶯谷高校口」より歩いて 5 分
- 東海北陸自動車道・岐阜各務原 IC から車で 20 分  
有料駐車場 約 300 台 (100 円 / 30 分)

イベント開催時は混雑し、特に退場に時間がかかることがあります。



みんなの森  
ぎふメディアコスモス  
公式 web サイト

**参加費** 無料 (一般公開・先着制 … 当日参加も可能ですが、事前登録された方を優先します。)

**定員** 60 人 ※託児サービスはありませんが、キッズスペースを用意します。

## プログラム

12:30	開場	
13:00	趣旨説明	小山真紀 (岐阜大学 地域減災研究センター)
13:05	講演	「社会のモノサシの作り方～社会医学と評価学の視点より」 佐分利応貴 (経済産業省 / 社会医学)
13:50	講演	「名指されぬ弱者、街に出る。——生きづらさの表出 / 表現としての SEALDs と在特会にかんする試論」 吉岡剛彦 (佐賀大学 / 法哲学)
14:35	講演	「生きづらさとは何だろう? : 一精神科医の随想」 今井必生 (医療法人 三家クリニック / 精神医学)
15:20	休憩 (15 分)	
15:35	テーブルディスカッション	
17:00	閉会	司会：相原征代 (岐阜大学 男女共同参画推進室)

## 参加登録および問い合わせ先

**FORM** <http://goo.gl/forms/bhN5nL5ZX6>

**MAIL** [ikidurasagaku@gmail.com](mailto:ikidurasagaku@gmail.com) (生きやすさ応援実行委員会)



〈参加登録フォーム用〉

### 生きづらさ学が目指していること…

医療や科学技術の進歩、働き方の変化、グローバル化などによって、市民の多様性はどんどん広がっています。しかし、その一方で、自分の周りの人は自分に近い環境の人ばかりだったりするため、お互いのおかれた状況は、意外と知らないケースが多いです。それどころか、そんな人がいる事さえ知らなかったりします。これが進むと、何かしら問題を抱えたりして生きづらさを感じる状況になったとしても、自分の問題として抱え込んでしまい、生きづらさを抱えたまま孤立してしまう。ということも起きてしまいます。それぞれの人の抱える問題はそれぞれ違うかもしれませんが、生きづらさを取り巻く環境は共通することもたくさんあります。

そこで、生きづらさ学ワークショップでは、それぞれの問題、という縦割りの価値観を超えて、「生きづらさ」の視点から、多様な分野に横串を通して考える事で、対処療法を超えた解決策の提示を目指しています。

